

(報道発表)

2020年4月23日
山口県
西日本電信電話株式会社

山口県と西日本電信電話株式会社との
「ローカル 5G を活用した社会課題解決に関する連携協定」の締結について

山口県（知事：村岡 嗣政）と西日本電信電話株式会社（代表取締役社長：小林 充佳、以下 NTT西日本）は、社会課題を解決する手段としてローカル 5G を活用した取組を促進していくため、連携協定を本日締結します。

1. 協定締結に至った背景

少子高齢化に伴う労働人口の減少や多発する自然災害への備え、社会インフラ維持など、いま地域はさまざまな社会課題に直面しています。その解決手段の1つとして、地域・産業のニーズに応じて自治体や企業が自らの建物や敷地内で 5G ネットワークを独自に構築できる「ローカル 5G」の注目が高まっております。

山口県においても、Society5.0 時代を見据え、人手不足や生産性向上等の課題解決に向けた新事業の創出など、産業振興や生活の質の向上等に関する様々な分野で、5G や AI/IoT 等の未来技術の活用を推進しております。

特に、山口県は、世界を舞台に戦う企業や、最先端のものづくり技術を誇る企業、その製造拠点が多数集積した、「世界に向けた部素材供給拠点」であり、未来技術を活用した製造現場の高度化に取り組んでおります。

NTT西日本は、社会を取り巻く環境変化がもたらす様々な課題に対し、先頭に立って ICT の力で解決をしていく「ソーシャル ICT パイオニア」をめざして、これまで培ってきた経験や技術力を生かし、地域の活性化等の取組を支援しており、ローカル 5G を活用した社会課題解決について検討を開始しております。

このような背景のもと、山口県と NTT 西日本は、「ローカル 5G」を活用した取組を促進することによる社会課題の解決を目的に、今回の連携協定を締結することとなりました。

2. 連携協定の目的と実施事項

本連携は、相互に協力し、ローカル 5G を活用して、山口県内の社会課題解決に寄与することを目的とし、以下の事項について連携協力します。

その他連携項目の推進に関すること及び具体的な実施方法につきましては、両者で協議の上、決定いたします。

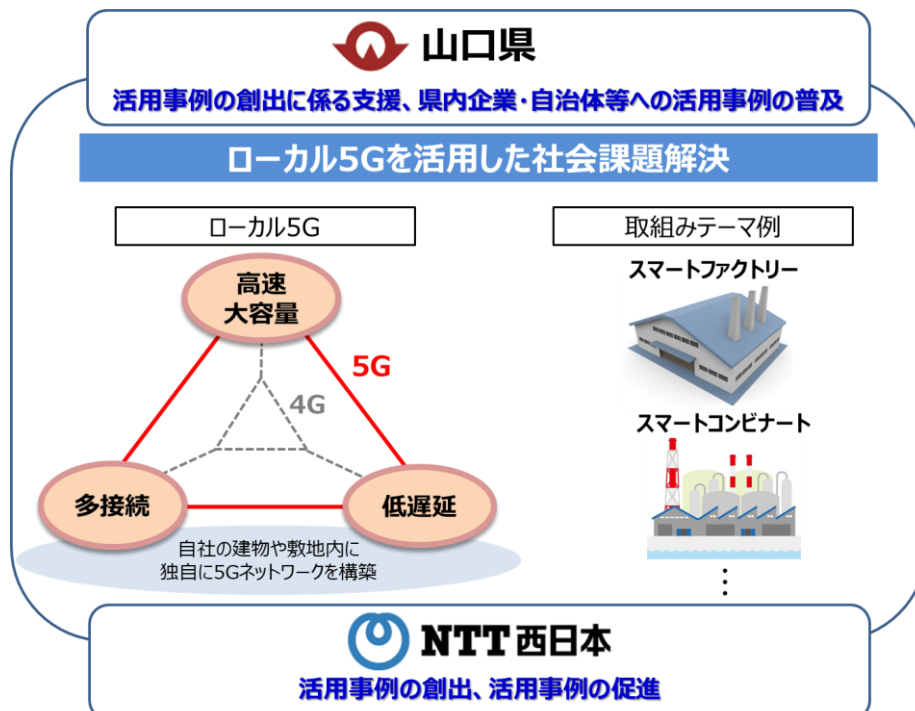
- (1) ローカル 5G の活用事例の創出に関すること
- (2) ローカル 5G の普及促進に関すること
- (3) その他連携項目の推進に関すること

<想定される取組>

- (1) ローカル 5G を活用したスマートファクトリーやスマートコンビナートを実現するモデルの創出
- (2) その他の産業の新たなイノベーションの創出

3. 役割分担

- ・山口県：ローカル 5G 活用事例の創出に係る支援、県内企業・自治体等への活用事例の普及
- ・NTT 西日本：ローカル 5G 活用事例の創出、活用促進



【連携協定の取組イメージ】

4. 今後の展開について

山口県内の自治体や製造業などの企業とともに、ローカル5Gの実証実験を通してその有用性を検証し、利活用方法を検討いたします。それにより得られた成果を、山口県経済の持続的な成長・発展に向けて展開し、ローカル5Gを活用して山口県の様々な社会課題解決を図ってまいります。

なお、本協定に基づく取組の第1弾として、本日、株式会社ひびき精機とNTT西日本が「スマートファクトリー実現に向けたローカル5Gの活用に関する共同実験協定」を締結し、工場における実証実験に取り組むこととしております。

【報道機関からのお問い合わせ先】

山口県
産業戦略部
083-933-2472

西日本電信電話株式会社
経営企画部 広報室
06-4793-2311

※電話番号をお間違えないようお願いいたします。